

(財)北海道サッカー協会 2015プロジェクト

2005年4月策定

I HFAの理念及びビジョンの具現に向けて

(財)北海道サッカー協会会長 出口 明

HFAの理念

サッカーを通じ、道民の心身の健全な発達と北海道スポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成する。

財団法人北海道サッカー協会は、サッカーを通して、本道開拓期のフロンティアスピリット（開拓者魂）を我が愛する郷土北海道全体に浸透させ、道民が元気に大きな夢を持って毎日を生活できるよう、また生涯にわたって地域の中で充実したスポーツライフを楽しむことができる環境が整うことを願っております。

HFAのビジョン

1. 北海道のサッカーの普及に努め、老若男女がサッカーを楽しみ、ファミリー全体が幸せになれる環境を創り上げるため、サッカーファミリーの拡大を図る。
2. 道民チームJリーグ「コンサドーレ札幌」を頂点として、各北海道代表チーム・選手が常に日本のトップレベルで活躍できるよう、サッカーの強化に努め、道民に希望と勇気と感動を与える。
3. サッカーを通してフェアプレーの精神を身に付け、全道に相互扶助の豊かな気持ちが広がるよう貢献する。

財団法人北海道サッカー協会は、組織を充実し、サッカーファミリーを拡大し、幼児からシニアにいたるまでの心身の発達状況等に応じたルールを工夫などして、誰もが、どこでも、手軽にサッカーを楽しむことができる環境を整えます。また、幼児期からの発達特性に留意したプログラムを策定するなどして、それに引き続くトレセンを充実し、サッカーの技を磨くとともに、逞しい体とスポーツマンシップに基づく自己を愛するよう他人をも大事にする思いやりの心を育てます。さらに、過疎化や高齢化が進んでも、その地に明るさをもたらすような、相互扶助の気持ちが北海道全体に広がるよう、私たち財団法人北海道サッカー協会は2015プロジェクトを推進してまいります。

II HFA2015プロジェクトの推進

1 HFA2015プロジェクト事業本部の創設

財団法人北海道サッカー協会は、JFA2005宣言を受け、北海道としてのサッカー界の在り方や進むべき方向などを明確にするため、「HFAの理念」、「HFAのビジョン」「HFAの約束2015」「HFAの約束2050」を、2005年4月に制定（2006年4月一部改正）しました。

HFA2015プロジェクト事業本部（以後、「HFA2015プロジェクト」という。）は、この「HFAの理念」、「HFAのビジョン」に基づき、道民の皆様方にお約束した「HFAの約束2015」を具現するため、2006年1月16日の常務理事会においてその創設が決定しました。

2 HFA2015プロジェクトの業務等

HFA2015プロジェクトは、「HFAの約束2015」の具現を目的に、各セッション担当者の目標管理^{*1}の下、アウトカム指標などを明確にしながらか推進致します。

II HFA2015プロジェクトの推進

1 HFA2015プロジェクト事業本部の創設

財団法人北海道サッカー協会は、JFA2005宣言を受け、北海道としてのサッカー界の在り方や進むべき方向などを明確にするため、「HFAの理念」、「HFAのビジョン」「HFAの約束2015」「HFAの約束2050」を、2005年4月に制定（2006年4月一部改正）しました。

HFA2015プロジェクト事業本部（以後、「HFA2015プロジェクト」という。）は、この「HFAの理念」、「HFAのビジョン」に基づき、道民の皆様方にお約束した「HFAの約束2015」を具現するため、2006年1月16日の常務理事会においてその創設が決定しました。

2 HFA2015プロジェクトの業務等

HFA2015プロジェクトは、「HFAの約束2015」の具現を目的に、各セクション担当者の目標管理^{*1}の下、アウトカム指標などを明確にしながら推進致します。

(1) HFA2015プロジェクトの業務内容

HFA2015プロジェクトには、「HFAの約束2015」の具現を図るため、次の7内容がミッションとして与えられています。

- ①「サッカーファミリー25万人」に係るミッション
- ②「コンサドーレ札幌」に係るミッション
- ③「日本代表・オリンピック代表選手の輩出」に係るミッション
- ④「各カテゴリーの全国大会上位進出」に係るミッション
- ⑤「なでしこリーグ加盟育成」に係るミッション
- ⑥「JFL加盟育成」に係るミッション
- ⑦「Fリーグ上位定着」に係るミッション
- ⑧「スポーツ医科学」に係るミッション

(2) HFA2015プロジェクトの目標管理

HFA2015プロジェクトは、道民の皆様方への約束を履行するための組織です。したがって、その推進は、確実にかつ明確に、停滞無く推進することが求められます。

このことから、2006年度から本格実施するため、年度（2006～2008年度）の計画を策定するとともに、本プロジェクト内容と強く関わる技術委員会も創設しました。

2015年度まで、短期目標年度、中期目標年度、長期目標年度の3期に分け、プロジェクトを推進することにしました。この3期の推進状況が明確になるよう、定量的目標^{*2}か定性的目標^{*3}のどちらかにより、目標を設定するなどして、プロジェクトの進行度合が、より一層、明確化するよう、各担当者の目標管理は確実にを行うよう配慮します。

なお、2006年度から2015年度までの3期の区分は、次のようにします。

短期目標年度： 2006年度～2008年度	【目標の1/4～1/2以上の遂行】
なお、「女子Lリーグ加盟チームの育成」及び「JFL加盟チームの育成」「Fリーグ加盟チームの育成」は、短期目標年度内での完成を目指す。	
中期目標年度： 2009年度～2012年度	【目標の1/2～2/3以上の遂行】
長期目標年度： 2013年度～2015年度	【全ての2015プロジェクトが完成】

3 HFA2015プロジェクトの構成等

HFA2015プロジェクトの構成については、常務理事会において曲折を経ましたが、技術委員会の創設と計画を策定するため、2005年度及び短期目標年度の2010年度～2011年度を担うメンバーとして、

○総括責任者	佐藤 公一
○プロジェクトマネージャー	上條 隆義
○サッカーファミリー25万人部門	小林 徹也、高島 利実、荻原憲嗣
○コンサドーレ札幌J1定着部門	石井 亮
○代表選手輩出部門	大西 真司
○全国上位成績部門	中嶋 徹雄
○なでしこリーグ加盟育成部門	鷺津 裕美、成田 律子
○JFL加盟育成部門	熊谷 輝男、三好 健寿
○Fリーグ上位定着部門	小関 孝徳、荃津 都
○スポーツ医科学関係	中野 和彦、神谷 智昭

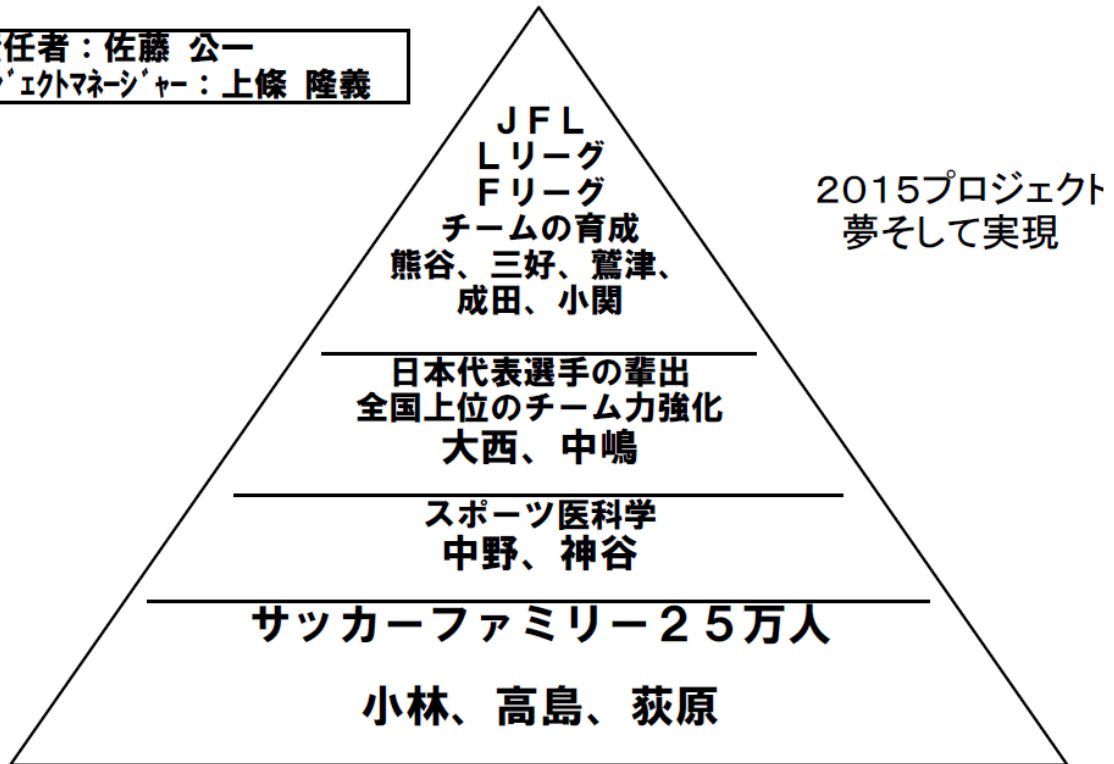
(2011年4月1日現在)

2008年4月以降、法人役員の変更等に併せて、さらにプロジェクトメンバーを補強。

また、このHFA2015プロジェクトの内容構成は、次のように階層的構造として、整理し、相互の関連化を図りながら全体的調整を行う中で、プロジェクトを推進します。

コンサドーレ札幌 J1 定着：石井

総責任者：佐藤 公一
プロジェクトマネージャー：上條 隆義



4 HFA 2015プロジェクト推進に係る留意事項

HFA 2015プロジェクトは、その推進に当たり、本道サッカーを取り巻く環境の変化も想定し、その変化等に柔軟且つ円滑に、各担当者及び担当間で対応できるようにするため、次の2点に留意して進めます。

(1) 原則1：歩きながら、振り返り、問いかけつつ、着実に推進すること

「確固たる推進内容・方法を確立して」から進むことは、いたずらに時間を費やすことにもなりかねないことから、PDCAサイクルを短期的に積み重ね、「評価ABC*4」を繰り返し、「歩きながら、振り返り、問いかけつつ、着実に推進する」マネジメント方式を採用します。

(2) 原則2：各協会及び各チーム等から好意を持って迎えらるること

「コンサドーレ札幌」やLリーグ・JFLリーグ・Fリーグチームという特定チーム等に係る支援などを対象にしていることから、その具体的な在り方については全道的視野の下、各地区サッカー協会及び各チーム等から好意的に理解・支援される内容・方向でプロジェクトを推進します。

(3) 原則3：各協会及び各連盟理事長が本プロジェクト事業本部推進委員になること

本プロジェクトを全道的に、かつ確実に推進実行するため、各地区サッカー協会理事長及び各サッカー連盟理事長を推進委員に任命。

このことにより、2015プロジェクトの全道的推進に係る進捗が平準化されるとともに、各地区サッカー協会等からの支援・援助が確実になされるようになります。